発売元　LPL商事株式会社
東京営業所　東京都新宿区西落合3-8-6 〒161
大阪営業所　大阪市南区鰻谷東之町40 〒542
製造元　株式会社 LPL
東村山工場　東京都東村山市秋津町
甲府工場　山梨県甲府市塚原町

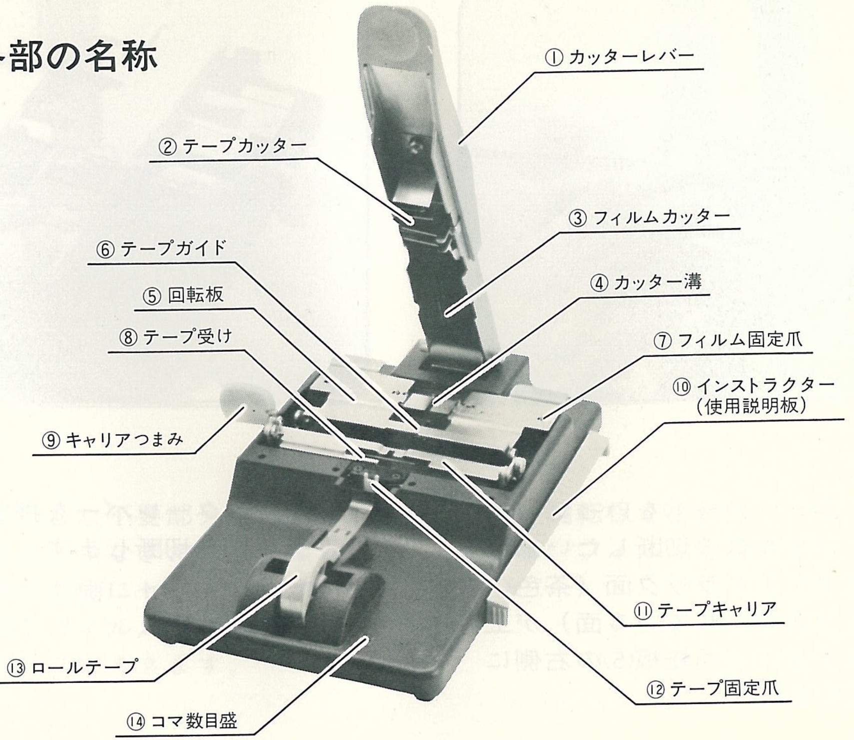
No.7251

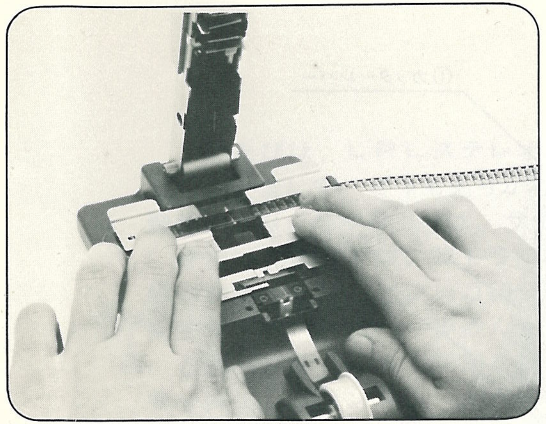
LPL
ステレオサウンドスプライサー

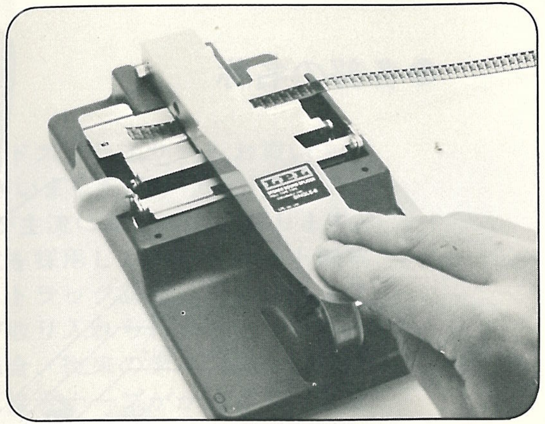
取り扱い説明書

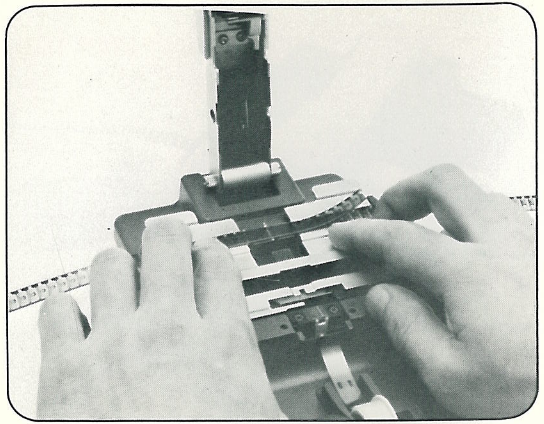
このたびは、ＬＰＬステレオサウンドスプライサーをお買い上げくださいまして、どうもありがとうございました。サウンドカメラの登場により、今や８ミリは、サウンドが主流になってきております。
さらに、最近では、２トラック方式を採用した高級サウンド映写機の登場により、アフレコ録音も、２トラック録音、あるいはステレオ録音といった、一歩進んだ方式が取り入れられつつあります。
これらのフィルムの編集を考えた場合、従来のテープ式スプライサーでは、バランスコーティング帯に接合テープがかぶさってしまうため、音声再生時に音トビの現象が問題となっていました。
そこでＬＰＬでは、従来のサイレントフィルムはもちろん、１トラック・２トラック・ステレオの、どのタイプの録音にも適した確実なフィルム編集のできる、ステレオサウンドスプライサーを開発いたしました。
このスプライサーは、従来のロールテープスプライサーを、さらに高精度化した、多目的の高級スプライサーです。

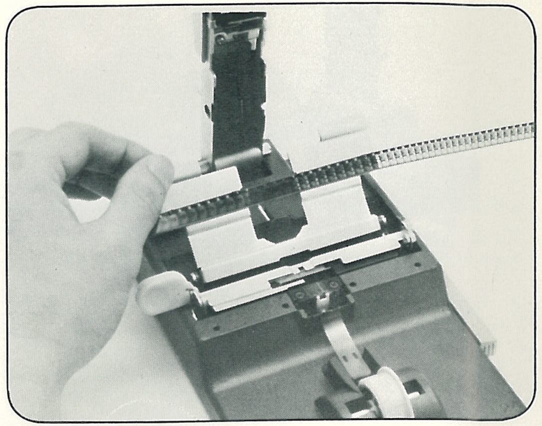
●各部の名称









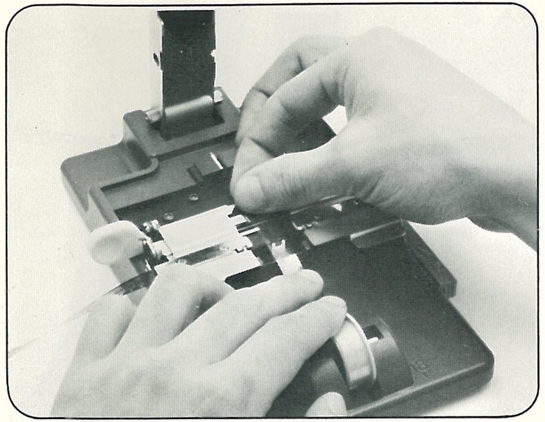


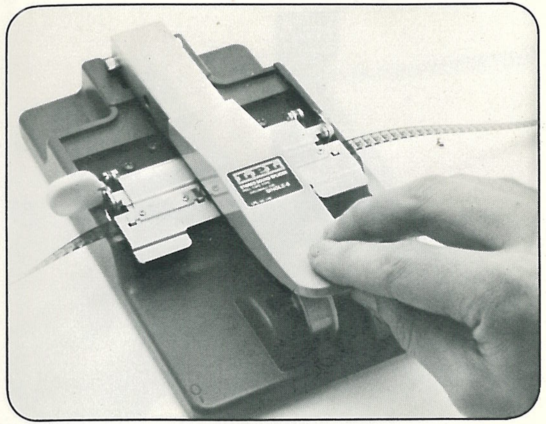
1　カッターレバー①をいっぱいに上げ、フィルムの切断したい部分を、サウンドトラック面（茶色の磁性帯が塗布されている面）が上になるように、回転板⑤の右側にセットします。

2　カッターレバーを押しさげ、フィルムを切断します。

3　切り落とした不要部分を取りのぞき、次に、つなぎたいフィルムを回転板の左側にセットします。**2**の要領でフィルムを切断し、不要部分を取りのぞきます。

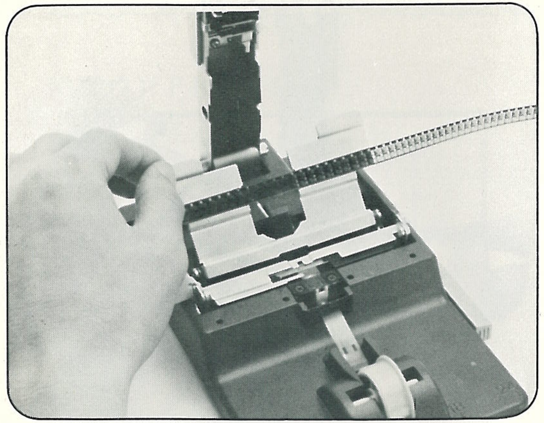
4　回転板を手前へ、180度回転させ、フィルムを裏返しにします。

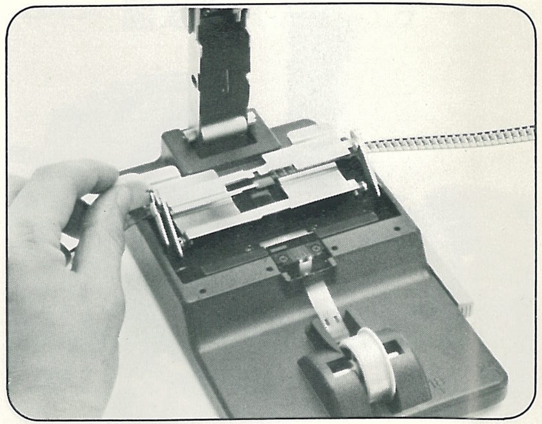




5　ロールテープの先端を引き出し、テープ固定爪⑫にテープの穴を合わせ、先方へひっぱり、黒いテープガイド⑥にはりつけます。次にフィルム上のテープを、指で軽くおさえ、フィルムにはりつけます。

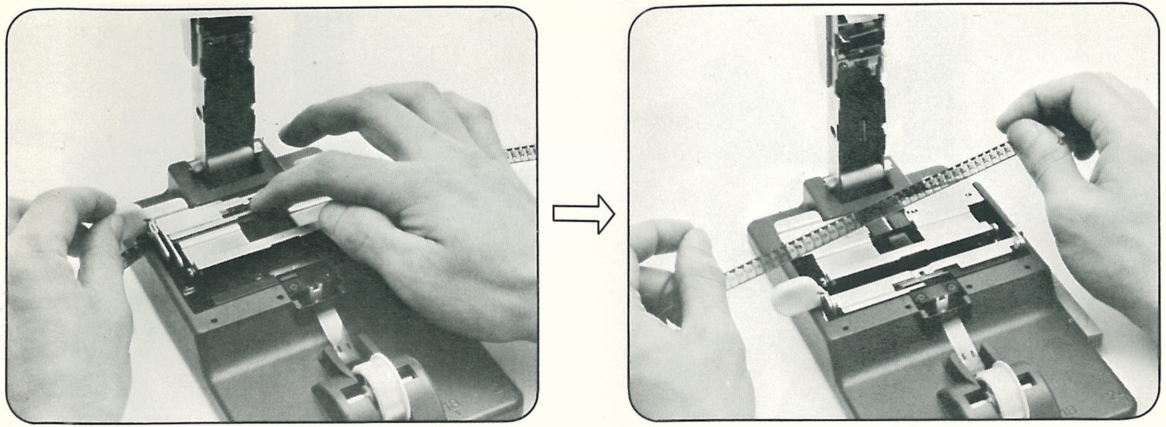
6　カッターレバーを押しさげ、テープをカットします。





7　カッターレバーを上げ、回転板を180度回転させ、元の位置までもどします。

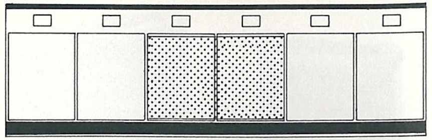
8　黄色のキャリアつまみ⑨を先方へ動かし、テープキャリア⑪を回転板の上に重ねます。この時、テープ受け⑧上の切断されたテープ片が、フィルム面へ移動します。



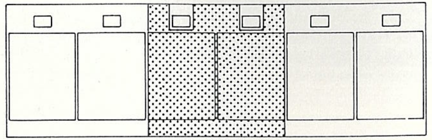
❾ 移動したテープ片の右側を指で軽くおさえたのちに、キャリアつまみを元の位置にもどします。次に、フィルム上のテープを、指でおさえれば、スプライスは完了です。

接合部分

サウンドトラック面

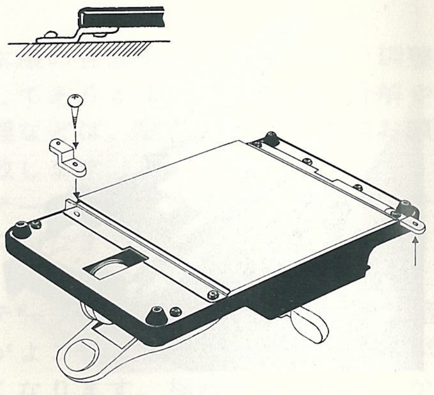


乳剤面



図のように、サウンドトラック部分には、テープがかからないようになっています。

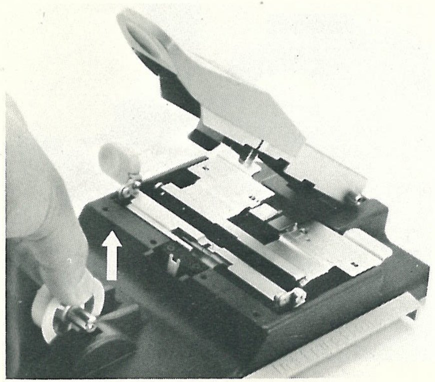
固定金具の使い方



付属の固定用金具とネジで、スプライサー本体を台や板などに固定するとより安定して使いやすくなります。

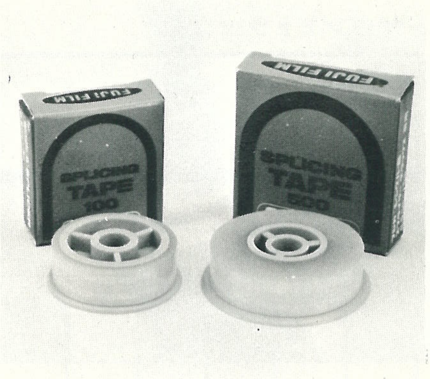
まず、矢印の部分のネジをはずし、このネジで取付金具を本体に固定し、次に木ネジを用いて、台や板などに固定します。

テープ交換

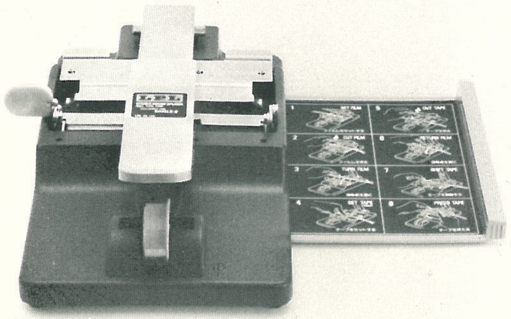


テープがなくなったら、空になったリールをつまんで引き上げてください。新しいテープを金属製の軸に通して、元の位置にセットします。

ロールテープ



専用テープは、富士フイルムの開発した、ロールテープ式のスプライシングテープを使用します。このテープは、透明度が高く、強度、接着力とも優れたものです。100回分と500回分の２種類発売されておりますので、お近くのカメラ店でお買い求めください。



○使用法をお忘れの時は、インストラクター(使用説明板)をご覧ください。

ご注意

○本機の各部分は、精度の高い調整をしてあります。ご自分で、分解や修理などは、なさらないようにお願い致します。
○テープガイドの黒い部分には、テープがたまらないように、常に取り除いておいてください。
○テープキャリアのテープ受けの部分がよごれると、テープの粘着力が弱くなります。指紋やよごれがつかないようにしてください。